

4 上位関連計画

4.1 阿波市の将来像と公共交通の役割

1) 第2次阿波市総合計画(平成 29 年 3 月)

- 地方創生の時代の到来や、大きく変化する社会環境への対応、市内における人口減少対策や雇用の確保などの課題克服に向け、「第2次阿波市総合計画」(平成 29 年度～平成 38 年度)を策定している。

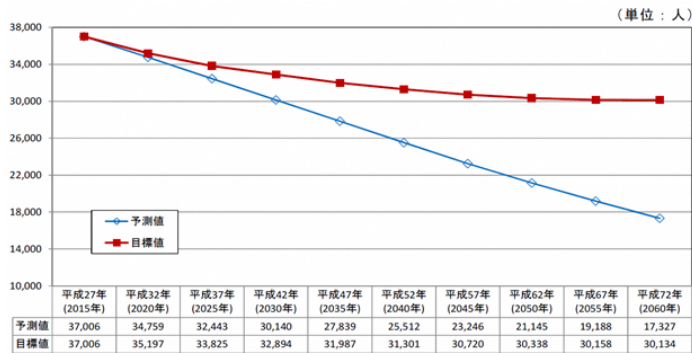
【基本理念】協働・創造・自立のまちづくり

【将来像】あすに向かって人の花咲くやすらぎと感動の郷土・阿波市

平成38年度の人口の予測値と目標値

予測値：31,980人
目標値：33,640人

長期的な人口の予測値と目標値(「阿波市人口ビジョン」より)



注1) 予測値は、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した推計による。
注2) 目標値は、合計特殊出生率と転入出数を望ましい値に設定した市独自の推計による。
注3) 「阿波市人口ビジョン」では、予測値・目標値ともに5年ごと(国勢調査年)の数値となっているため、平成38年度の数値は、按分して算出し、10人単位としている。

図 4-1 人口の見通し

出典) 第2次阿波市総合計画

表 4-1 政策目標

政策目標	方針
やさしく健やかな阿波 (健康・福祉・子育て分野)	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸や予防を重視した取組み 住み慣れた地域で安心して暮らせるサポート体制づくりや安心して子育てができる環境づくり
安全・安心・快適な阿波 (生活環境分野)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模自然災害への対応力強化のための広域的な防災体制づくり 快適な生活環境づくり
人が輝き合う阿波 (教育・文化分野)	<ul style="list-style-type: none"> 知・徳・体の調和のとれた「生き抜く力」、「郷土愛」の育成 「アエルワ」や豊富な社会体育施設を活用した市民主体の文化・スポーツ活動の支援
豊かで活力ある阿波 (産業分野)	<ul style="list-style-type: none"> 「阿波市ブランド」の確立や地産地消の促進、担い手の育成 オーダーメイド型の企業誘致、未利用地・建物を活用した企業誘致と雇用促進
明日への基盤が整った阿波 (生活基盤分野)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な土地の利用や道路・公共交通・情報ネットワークの形成 住宅の整備・確保、定住・移住をサポートする施策の推進、情報発信の強化
共に生き、共につくる阿波 (共生・協働・行財政分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民や市民団体、民間企業等の参画・協働の促進 より効率的な財政運営、選択と集中による事業の重点化

- 各政策目標の実現に向けて、公共交通は以下のような様々な面で寄与すると考えられる。

表 4-2 政策目標に対する公共交通の役割

政策目標	公共交通の役割
やさしく健やかな阿波 (健康・福祉・子育て分野)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が、病院、趣味、レクリエーション等へ自らの足で外出することを促進することにより、健康増進に寄与 子育て中の親が、交通事故のリスクが小さく、子どもと会話をしながら移動できることにより、親子の移動中の安全確保や子育て支援に寄与
安全・安心・快適な阿波 (生活環境分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の自動車からの転換、高齢者の自動車免許返納の促進により、交通安全性の確保、環境保全の確保、地球温暖化の抑制に寄与 誰もが、身近なスポーツ・レクリエーションの場、交流・いこいの場である公園、緑地に自由にアクセスできることにより、市民の生活環境の向上に寄与
人が輝き合う阿波 (教育・文化分野)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が、家族の送迎（自動車）に頼ることなく通学、課外活動後の帰宅ができることにより、交通安全性の確保、家族の負担軽減に寄与 誰もが、図書館や公民館、交流防災拠点施設「アエルワ」などの生涯学習関連施設に、自由にアクセスできることにより、生涯学習の充実に寄与 誰もが、緑の丘スポーツ公園、交流防災拠点施設「アエルワ」などの文化・スポーツ施設に自由にアクセスできることにより、文化・スポーツ活動の活性化に寄与
豊かで活力ある阿波 (産業分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民、市外からの訪問者の誰もが、阿波市の観光・交流拠点や各種イベントに自由にアクセスできることにより、観光の振興に寄与 通勤や移動環境の利便性確保による雇用者の生活環境向上により、新規企業の立地促進に寄与
明日への基盤が整った阿波 (生活基盤分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の移動ニーズへの対応により、市民生活における身近な交通手段の確保に寄与 阿波市内の移動環境の利便性確保により、若者の定住や団塊の世代の移住の促進に寄与
共に生き、共につくる阿波 (共生・協働・行財政分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民のみんなが支える公共交通の意識醸成と実行により、市民参画・協働の促進に寄与 効率的な公共交通、市民が利用する公共交通により、効率的で持続可能な財政運営に寄与

2) 阿波市総合戦略(平成 27 年 10 月)

- 自立的で持続的なまちづくりを創り出すことを目指し、人口減少問題の克服と持続可能な地域づくりに向けた取組の基本方向や具体的な施策をまとめた「輝く阿波市に煌めく未来」阿波市総合戦略（平成 27 年度～平成 31 年度）を策定している。
- 各政策目標の実現に向けて、公共交通は以下のような様々な面で寄与すると考えられる。

【位置づけ】

- ・ まち・ひと・しごと創生法第 10 条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、「阿波市人口ビジョン」で示す将来展望に向け、施策の方向性や目標を定めるもの。
- ・ 「阿波市総合計画」との整合を図りつつ、阿波市で策定している他の個別計画とも連携。

【人口目標】

「阿波市人口ビジョン」で定めた「2060 年の人口 3 万人以上）」

【基本目標】

1. 新しい人の流れづくり
～阿波市だからこそ住みたい「まちづくり」～
2. 地域における仕事づくり
～農業を軸とした「しごとづくり」～
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
～「子育てするなら阿波市」の実現～
4. 活力ある暮らしやすい地域づくり
～安心・安全な誇れる「まちづくり」～

表 4-3 基本目標に対する公共交通の役割

基本目標	公共交通の役割
1. 新しい人の流れづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿波市内の移動環境の利便性確保により、移住者の受け入れ体制の充実に寄与 ・ 市民、市外からの訪問者の誰もが、スポーツに関するイベントや施設、地域資源を活かした観光・地域交流拠点へのアクセス確保により、交流人口の増加に寄与
2. 地域における仕事づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、市外からの訪問者の誰もが、阿波市の観光拠点にアクセスできることにより、観光の振興に寄与 ・ 通勤や移動環境の利便性確保による生活環境向上により、企業誘致の推進に寄与
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て中の親が、いつでも外出できる移動環境の確保により、「子育て支援センター」等利用促進に寄与
4. 活力ある暮らしやすい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民のみんなが支える公共交通の意識醸成と実行により、市民参画によるまちづくりの推進に寄与 ・ 高齢者が、病院、福祉施設等へ自らの足で外出することを促進することにより、健康増進に寄与

3) 阿波市やすらぎ空間創造地区都市再生整備計画(平成 26 年 3 月)

- 住民が安全・安心かつ健康に暮らせる環境形成や、観光客や市民の交流を促進し、地域活性化を図るため「阿波市やすらぎ空間創造地区都市再生整備計画」(平成 26 年度～平成 30 年度)を策定している。
- 公共交通は健康まちづくりやにぎわいまちづくりに寄与すると考えられる。

【大目標】

新庁舎周辺をはじめとした3つの拠点と拠点を結ぶ軸により、住民が安全・安心かつ健康に暮らせる環境を形成するとともに、観光客や市民の交流を促進し地域の活性化を図ります。

- 目標①：快適な住環境の整備による市民の健康づくり(かいてき空間)
- 目標②：大規模災害に備えた防災対策の強化(すこやか空間)
- 目標③：地域資源を活かした観光・地域交流の促進(にぎわい空間)

【施設整備に係る公共交通の役割】

- ・ 誰もが、健康づくり緑地、もてなし広場にアクセスできることにより、健康まちづくりに寄与
- ・ 誰もが、交流広場、ふれあい広場にアクセスできることにより、にぎわいまちづくりに寄与

表 4-4 整備施設の概要

施設	目的
① 地域生活基盤施設 健康づくり緑地	宮川内谷川北岸に整備されているグラウンドゴルフ場など健康づくり施設やピオトープによる癒しをもたらす空間に加え、宮川内谷川南岸に健康づくりゾーンを整備し、宮川内谷川の自然に触れ、訪れる方が歩きたくなる施設作りを目指す。
② 地域生活基盤施設 もてなし広場	第一金清池周辺の親水空間を活用し、健康づくりの拠点となる広場として、親水広場、遊歩道等の整備を行う。
③ 地域生活基盤施設 交流広場	新庁舎北側周辺を利用し、健康づくりや四国霊場札所参拝者の休憩スペースとして、さらに大規模イベント空間として利用可能なもてなし空間を整備する。
④ 地域創造支援事業 ふれあい広場	色とりどりの花が植栽されたふれあい公園を整備し、交流の場の形成、健康づくりに向けたウォーキングの目的地を創出する。

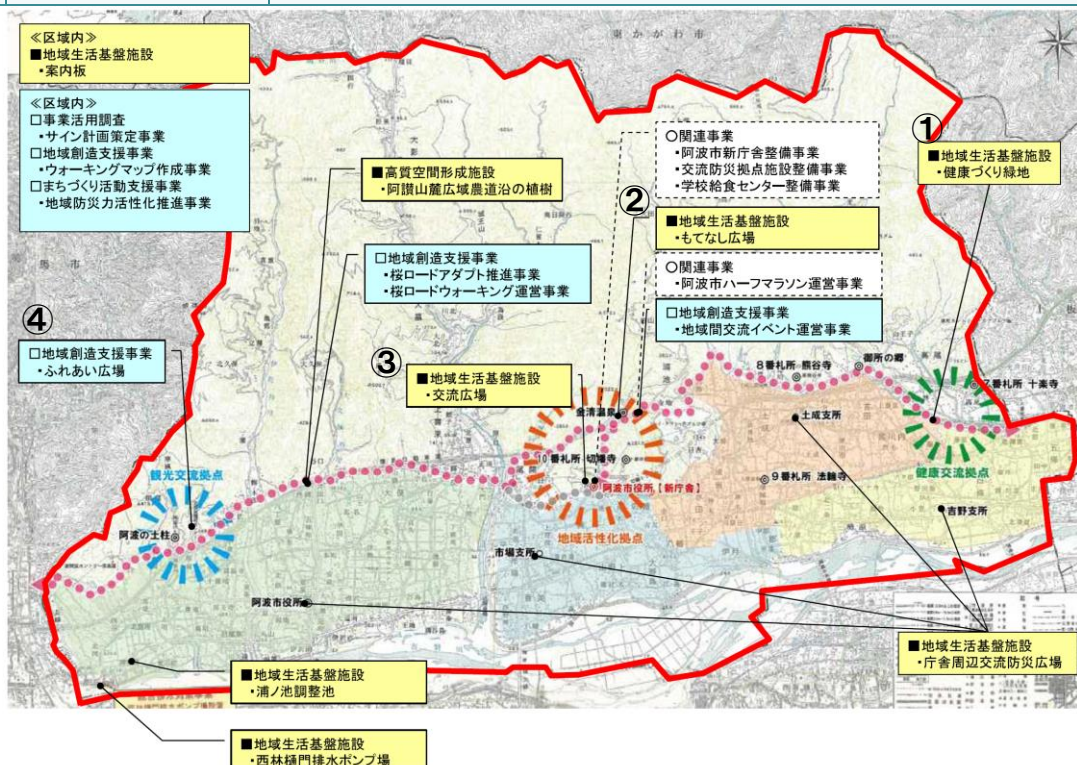


図 4-2 阿波市の整備計画図

4) 第2次阿波市地域福祉計画(平成29年3月)

- 一人暮らし高齢者世帯の増加、孤立死、ひきこもり、児童虐待の増加、貧困の拡大等、多様化する近年の様々な課題に対応し、より一層、協働による福祉のまちづくりを推進するため、「第2次阿波市地域福祉計画」(平成29年度～平成33年度)を策定している。
- 各重要視点と施策の実現に向けて、公共交通は以下のような様々な面で寄与すると考えられる。

【基本理念】

①みんなで支え合い築く地域福祉 快適で安心が実感できるまち・阿波

【計画の重要視点】

- ①地域における住民の交流や生きがいつくりの促進
- ②より活発な地域活動のための活動支援の促進

表 4-5 基本目標に対する公共交通の役割

基本目標	施策	公共交通の役割
1. 地域の支え合いによる福祉活動の推進	(1)地域活動への参加促進 (2)交流の場づくり・仕組みづくりの推進 (3)外出・移動支援の充実 (4)健康づくり・生きがいつくりを通じた地域力の育成	・移動環境の利便性確保により、地域活動への参加や交流の推進、外出・移動支援に寄与 ・公共交通で外出することで、健康増進に寄与
2. 地域福祉活動に対する支援の充実	(1)地域福祉活動の担い手の育成 (2)地域福祉の啓発・広報活動の充実 (3)福祉教育・ボランティア学習の充実 (4)各種団体等の活動支援	・移動環境の利便性確保により、各種団体の活動円滑化や促進に寄与
3. 福祉サービスの充実と適切な利用の推進	(1)支援をつなぐコーディネート仕組みづくり (2)総合的な相談支援の充実 (3)福祉サービスの質の向上と利用支援 (4)自立支援活動の推進	・様々な理由で生活が困窮している人や地域社会に参加できない人が、自立や社会参加をする際に自家用車やタクシーよりも安価に移動できる環境を確保することにより、自立支援の推進に寄与
4. 安全・安心な地域づくりの推進	(1)権利擁護体制の強化 (2)要配慮者の把握と支援体制の強化 (3)地域における防災・防犯機能の強化 (4)ユニバーサルデザインの推進	・公共交通においてもバリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮することにより、誰もが安心して外出し、安全に移動できる、暮らしやすいまちづくりに寄与

4.2 上位関連計画から求められる公共交通の役割を踏まえた課題

地域公共交通網形成計画に関連する計画より、公共交通には以下の課題があると考えられる。

- ・総合計画の基本理念、協働・創造・自立のまちづくりを支える公共交通ネットワークの形成(p4-1)
- ・高齢者や子育て世帯、免許や自家用車を持たない生徒や生活困窮者等が家族の送迎(自動車)等に頼ることなく、市民誰もが安価で自立的かつ安全に移動できる移動環境の確保(p4-2、4-3、4-5)
- ・市民や来訪者のニーズが高い生涯学習関連施設、文化・スポーツ施設、広場や緑地等の観光・交流拠点や各種イベント等へのアクセス交通手段の確保(p4-2、4-4)
- ・市民みんなが支える意識の醸成と市民の積極的な利用により、市民や市民団体、民間企業等の参画・協働を促進し、財政負担を考慮した効率的な公共交通の運行(p4-1、4-2)